

第5回 蒸気噴出対策連絡会議 ご説明資料

2023年8月22日
三井石油開発株式会社

1. 噴出抑制策の進捗

- 噴出抑制対応計画
- 噴出抑制作業経緯
- 注水作業
- 井戸の埋め戻し作業・スケジュール

2. 専門家による環境影響評価会の組成

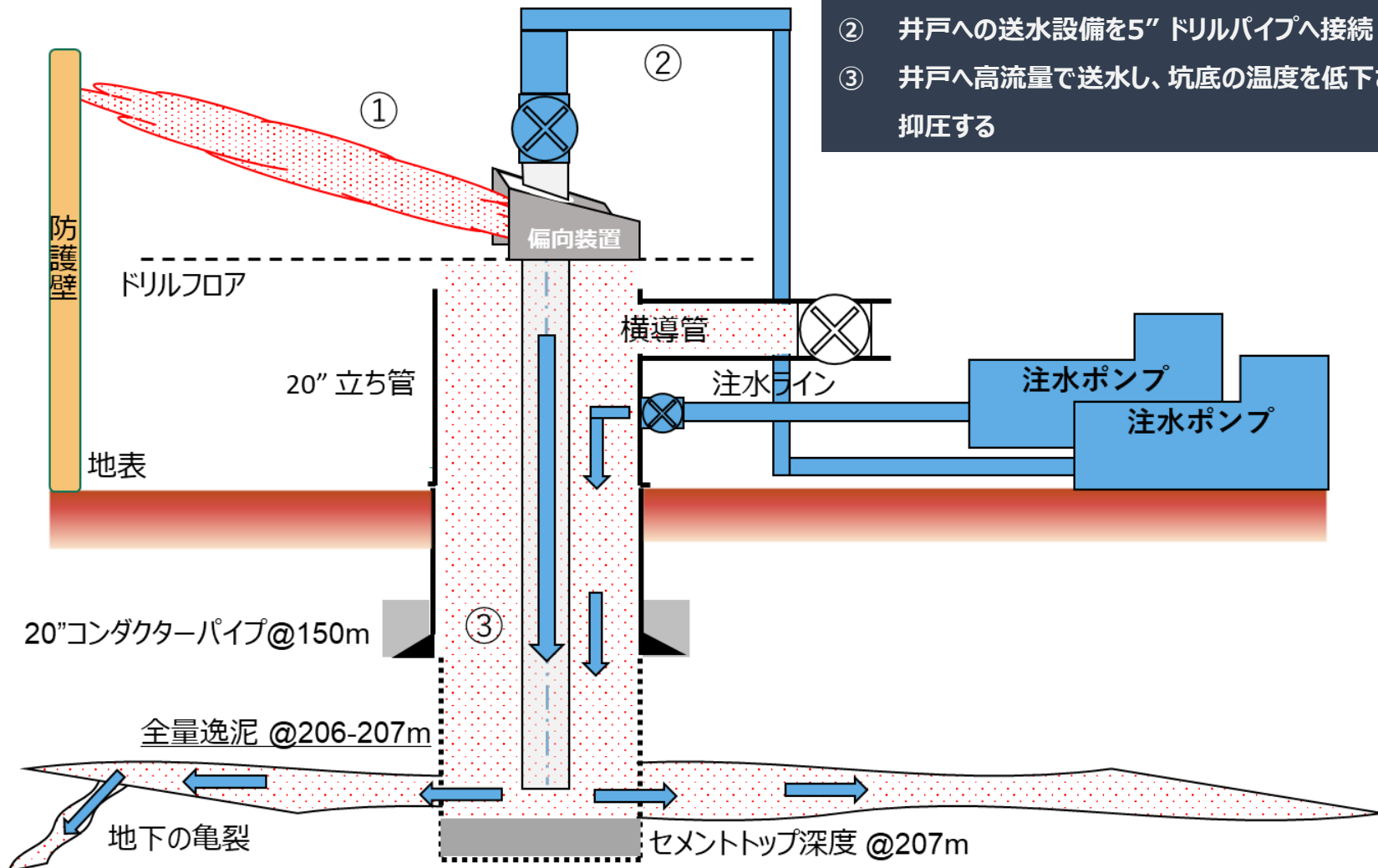
3. 前回連絡会議で頂戴したご意見・ご要望

4. 質疑応答

1-1. 噴出抑制対応計画（ベースケース）

防御ネット等設置し、場外への蒸気の噴出・噴出水の場外流出を防止

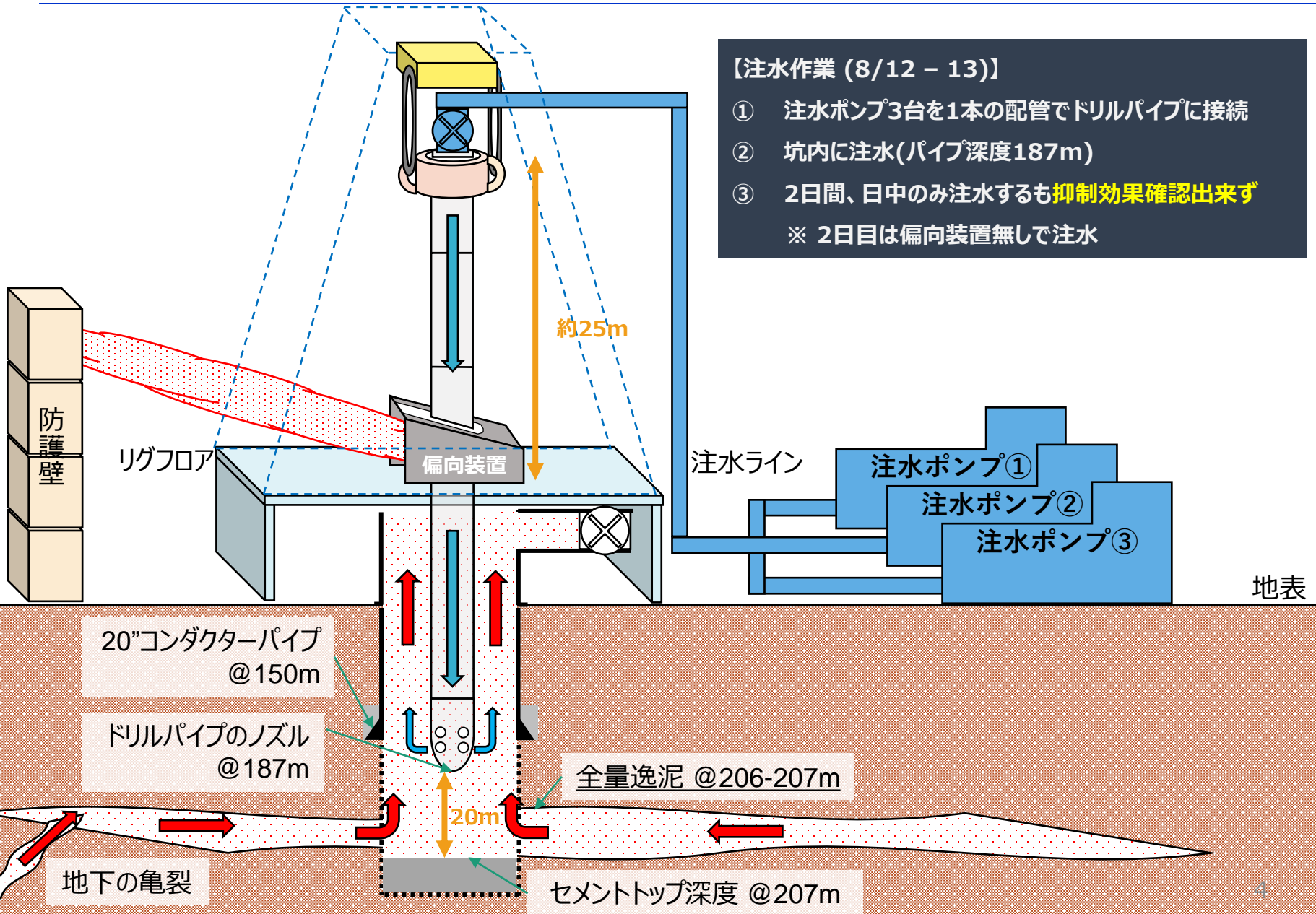
- ① 蒸気の噴出方向を機械的に偏向し、ドリルフロア上での作業環境を確保
- ② 井戸への送水設備を5" ドリルパイプへ接続
- ③ 井戸へ高流量で送水し、坑底の温度を低下させ、噴出蒸気を抑圧する



1-2. 噴出抑制作業経緯 (8/8～)

- 8/8-11 地上配管類準備、ドリルパイプ内に詰まりがないことを確認
- 8/12-13 **注水作業 ⇒ 明確な噴出抑制効果見られず**
- 8/13-16 偏向装置加工・再取付、リグフロア作業台設置、
第二エレベーター設置、ドリルパイプの状態確認
- 8/17 ドリルパイプを207mまで降下、詰まりがないことを確認
- 8/18 地上配管類準備・**注水作業**
⇒ 噴出抑制効果を目視確認、注水継続
- 8/19 追加注水ライン取付、一部資機材搬出
- 8/20 地上配管・作業台解体、偏向装置取外し、ドリルパイプ回収準備
- 8/21 ドリルパイプ回収

1-3. 注水作業 (8/12 - 13)



1-4. 注水作業 (8/18)

8/12-13の注水作業の結果を受け、以下の対応を実施

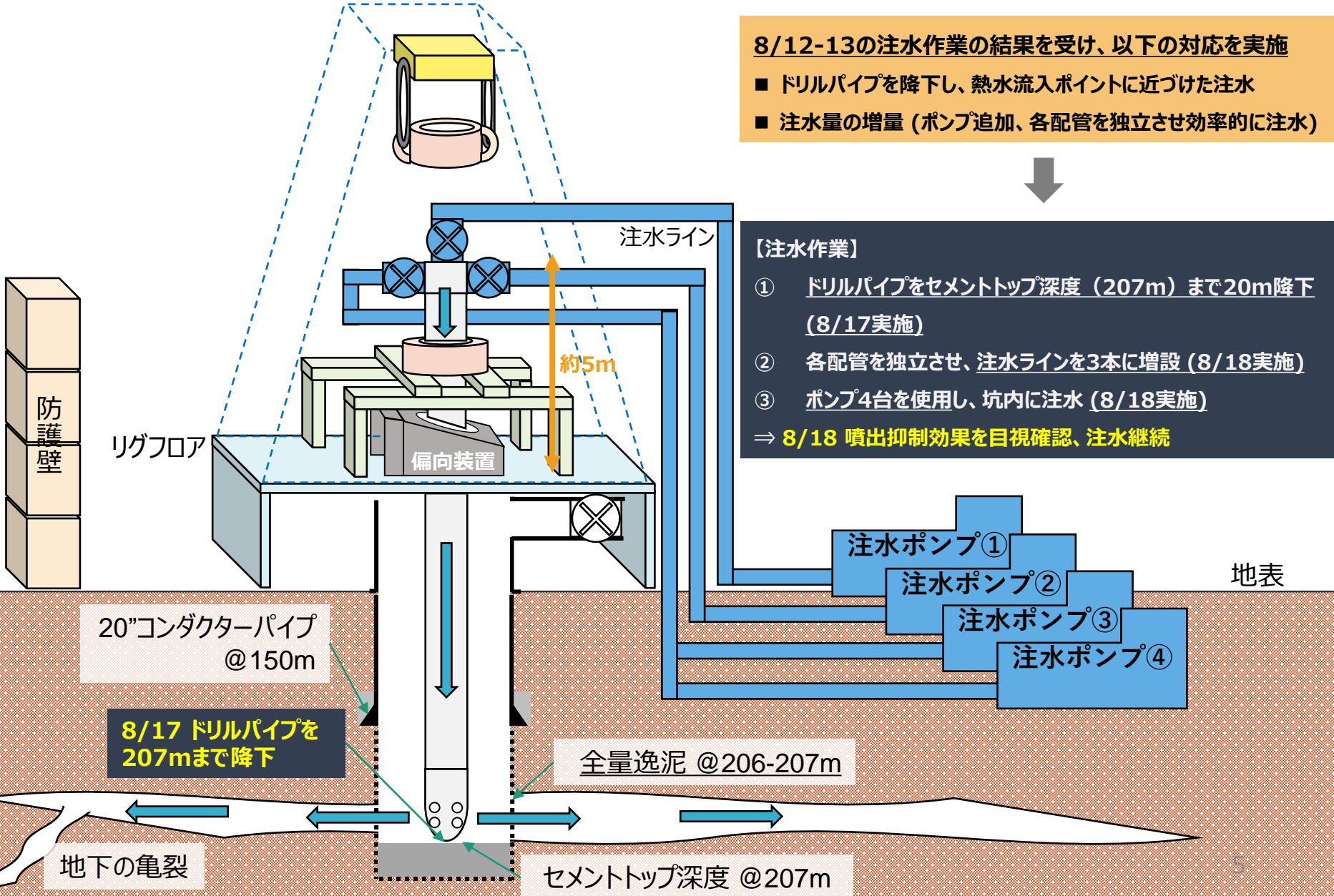
- ドリルパイプを降下し、熱水流入ポイントに近づけた注水
- 注水量の増量 (ポンプ追加、各配管を独立させ効率的に注水)



【注水作業】

- ① ドリルパイプをセメントトップ深度 (207m) まで20m降下 (8/17実施)
- ② 各配管を独立させ、注水ラインを3本に増設 (8/18実施)
- ③ ポンプ4台を使用し、坑内に注水 (8/18実施)

⇒ **8/18 噴出抑制効果を目視確認、注水継続**

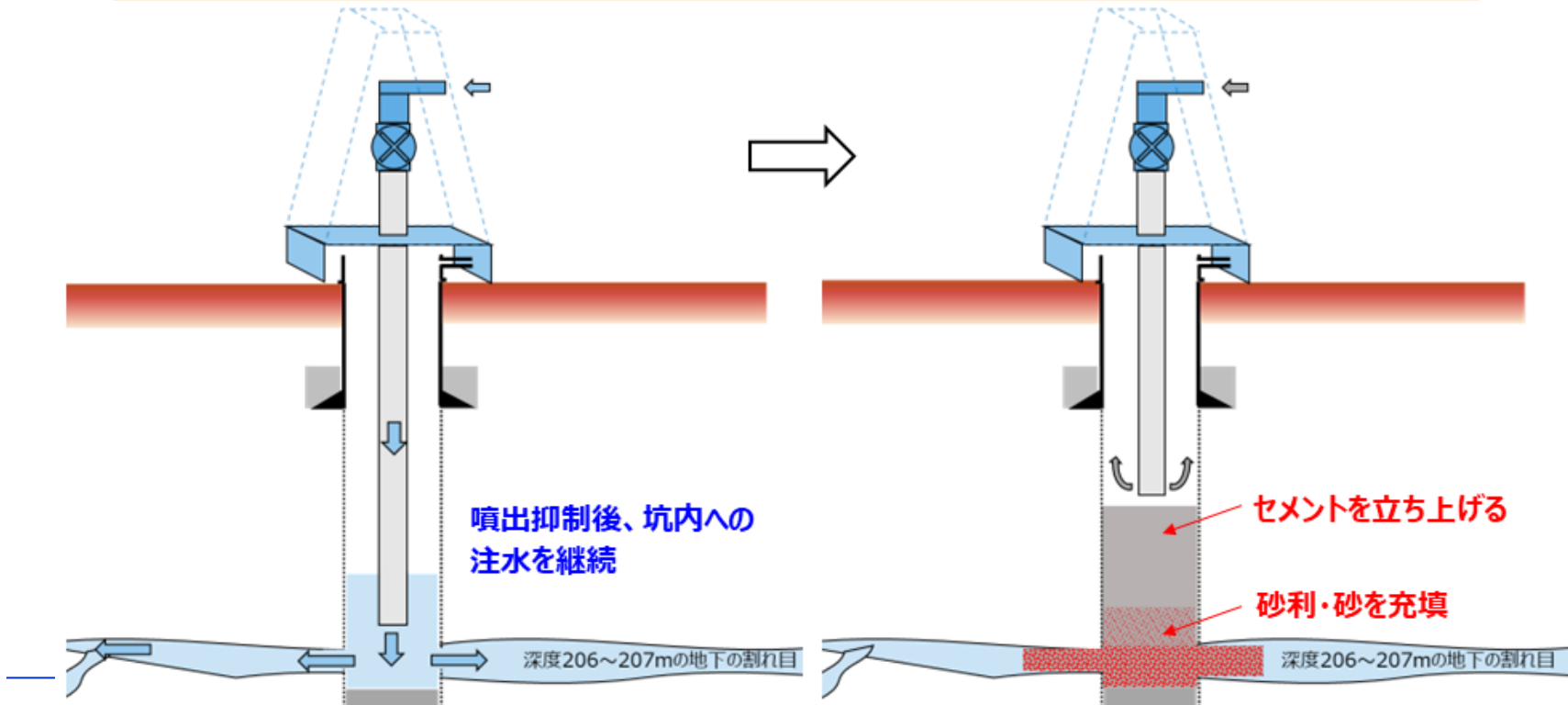


1-5. 井戸の埋め戻し作業・スケジュール

- 8月末までに砂利・砂充填、セメント立ち上げ
- ※ 天候・坑内状況によりスケジュール変動可能性あり

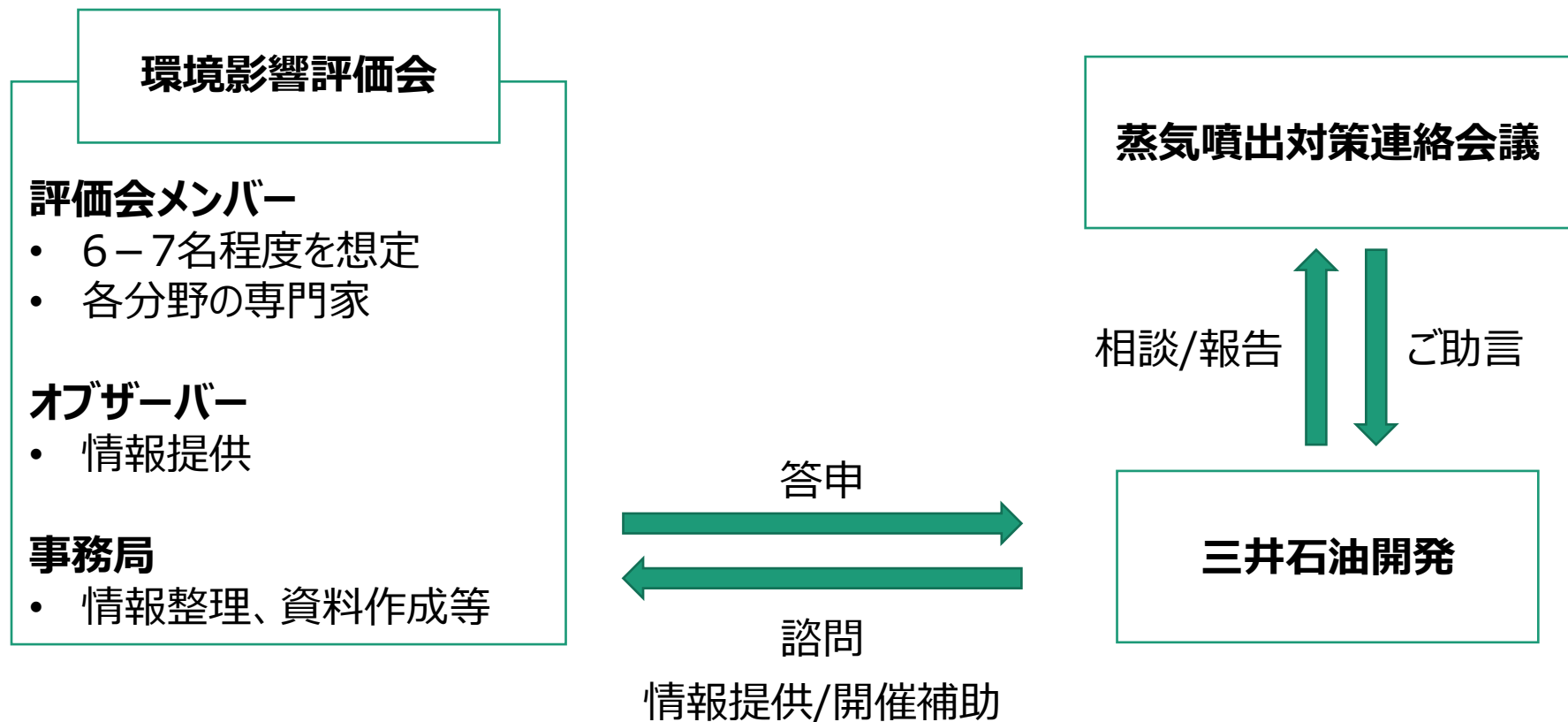
井戸の埋め戻し方法：

- 坑内に注水しながら、十分な量の砂利・砂等を投下し、セメンチングのための土台を作る
- 坑底からセメントを立ち上げていく
- 複数回のセメンチングを実施して地表までセメントを立ち上げて井戸を埋め戻す



2. 専門家による環境影響評価会の組成

- 蒸気噴出の影響評価（人健康+環境）を行い、モニタリング計画を策定していく目的で、各分野の専門家による環境影響評価会を組成。



3. 前回連絡会議で頂戴したご意見・ご要望

- 風評被害対策を連絡会議の議案として出席者間で毎回協議すること
- 対策の信頼性確保に向けた中立的な立場である専門家の起用

4. 質疑応答

- 挙手をお願いします。
- 弊社の者がマイクをお持ちします。
- 質問をされる前に、
ご自身の所属とお名前をおっしゃってください。